

2021年3月3日

原子燃料工業株式会社

東海事業所

2020年度事業者防災訓練 訓練課題対応資料

1. 原子力防災訓練で確認された課題について

2021年1月19日に実施した原子力防災訓練において、いくつかの課題を確認した。

確認した課題について下記のカテゴリーに分類し、それぞれに対する原因分析、対策案を「2020年度訓練課題」(表-1)にまとめた。

(カテゴリー分類)

- (1) 緊急対策本部活動訓練
- (2) 現場活動訓練
- (3) プレス訓練

2. 情報フローについての自己評価について

情報フローの自己評価内容を、「東海事業所における情報フロー図」(添付-1)及び「情報フローに対する検証」(添付-2)に示す。

2020年度訓練課題

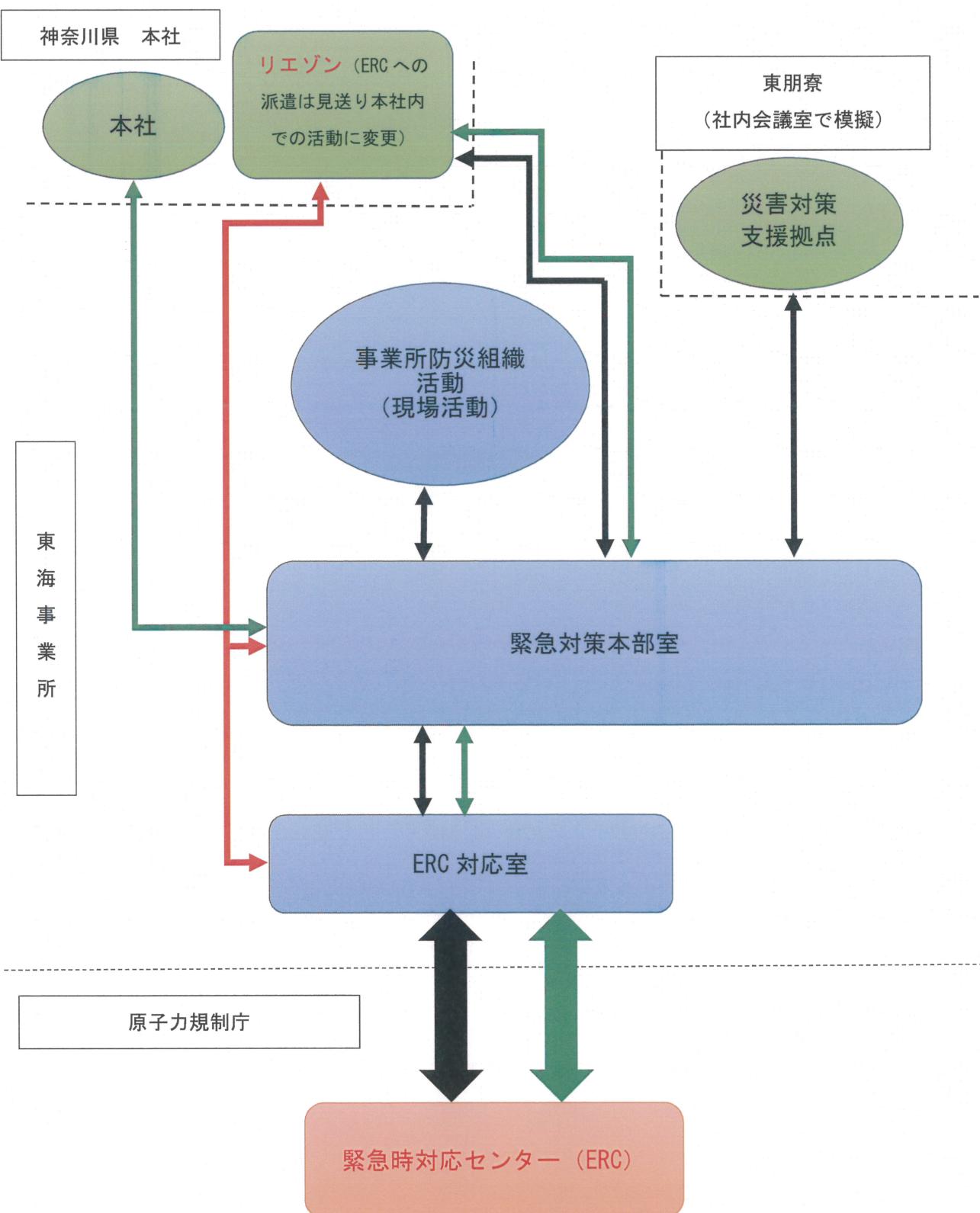
分類	項目	① るべき姿、②問題点／課題、③原因、④対策	パンチリスト番号
緊急対策 本部活動 訓練	指示事項、 確認事項の 抜け	<p>① るべき姿；本部長、各係長が事象の進展に応じて確認すべき事項、指示すべき事項に漏れがなく対応ができる。</p> <p>② 問題点／課題；事象の進展に応じて確認すべき事項、指示すべき事項に漏れが生じた。例えば、緊急作業への該当の有無、第25条報告（15条事象後の経過報告）、リエゾン派遣の準備及び緊急時態勢の解除宣言等。</p> <p>③ 原因；事象の進展に応じて本部長（副本部長含む）及び各係長が確認すべき事項、指示すべき事項は、全てマニュアル化されていないため、上記の基本事項を抜けなく対応できるかは、個人の力量に頼っている。現在、抜けや遅れが生じた場合は、周りの関係者がフォローするが、フォローがなければ抜けてしまうことになる。</p> <p>④ 対策；事象ごとに本部長（副本部長を含む）及び各係長が確認すべき基本事項、指示すべき基本事項を抜けなくチェックできる一覧表を作成し、緊対本部内で共有できるようにする。これらの内容をマニュアルに定め、関係者へ周知・徹底とともに個別訓練を通して練度を上げる。</p>	該当なし

プレス訓練	質疑応答対応の不備	<p>① あるべき姿；住民の方が理解して安心してもらえるプレス対応ができる。</p> <p>② 問題点／課題；記者会見において、外部への影響評価、ウランの危険性等の質問に対し、適切な回答ができず、近隣住民の不安が解消できない結果となった。</p> <p>③ 原因；ウランの危険性等の基本的なQ & A集を作成していなかった。記者会見対応者の力量管理、教育・訓練の仕組みがなく、本部長に指名された者が対応した。</p>	該当なし
-------	-----------	--	------

		<p>④ 対策；ウランの危険性等基本的な説明ができるよう基本的な事項（Q & A集）をまとめた資料を作成する。また、記者会見対応者の力量管理として、教育・訓練の仕組みを構築しマニュアルに追加する。記者会見対応者は、力量管理の仕組みに従い、教育・訓練を行うことで力量の向上を図る。</p>	
--	--	---	--

2. 情報フローについての自己評価

(1) 東海事業所における情報フロー図



凡例

- 音声情報（写真データを含む） (Voice Information (Including Photo Data))
- クロノロ情報 (Chrono Information)
- FAX・資料情報 (FAX and Document Information)

(2) 情報フローに対する検証

1) 情報共有の連携評価

東海事業所

【凡例】 ○：可 △：一部課題あり ×：不可 —：該当なし

	本社	災害対策支援拠点	事業所防災組織活動*	緊急対策本部室	リエゾン	ERC 対応室	ERC
本社							
災害対策支援拠点	—						
事業所防災組織活動*	—	—					
緊急対策本部室	音声 — クロ — FAX ○	音声 ○ クロ — FAX —	音声 △ クロ — FAX —				
リエゾン	—	—	—	音声 ○ クロ ○ FAX ○			
ERC 対応室	—	—	—	音声 ○ クロ ○ FAX ○	音声 — クロ ○ FAX —		
ERC	—	—	—	—	—	音声 ○ クロ — FAX ○	

(注) 音声：音声情報（写真データを含む） クロ：クロノロジー情報 FAX：FAX・資料情報

*：現場活動

2) 情報共有における連携不備

緊急対策本部室と事業所防災組織活動（現場活動）間において、

遅れが生じた。詳細は、「2020年度訓練課題」（表-1）現場活動訓練の欄を参照とする。

以上